

<テーマを決める>

みんなが暮らしているこの日本には、「干支飾り」という風習があります。新しい年を迎えるにあたり、一年の厄災をその年ごとの干支が払ってくれるという言い伝えがあります。

馬は、力強さと行動力、成功を象徴する動物とされています。2026年は午年です。みんなにとって、2026年が良い年になるように願い、玄関に飾れる午年の作品を作りましょう。



やさしい K-ART

2026年1月07-11日 (午年ワーク)

午年にちなんで、かっこいい飾り馬を
描きましょう！

<問いを考える>

「干支ってわかるかな？」「今年は何年かわかるかな？」

「2025年の干支はなんだったかわかるかな？」

「家のどこかに干支の置物とか、作品を飾っているかな？」

「馬を見たことはあるかな？」「どこで見たことがあるかな？」

「馬ってどんな色の馬がいるのかな？」

など、干支と馬に興味を持たせるような質問をしましょう。

<環境をデザインする>

馬を描きましようといっても、馬は簡単に描けるわけでは
ありません。馬のフォルムをした型と、鞍の型は事前に
準備をして、馬、鞍を好きなように色付けしましょう。
また、背景を塗った上に貼って作品の質を上げましよう。



1. キットパス
2. 馬パーツ
3. 鞍パーツ
4. キャンパス
5. ベビーパウダー



<探究活動を実践し、記録する> 1/14 (4歳児)

「干支」 「午年」 であることは、
4～5歳児クラスの子たちでも
ちゃんと答えられる子もいました。

背景は、キットパスで思いつきり
塗って、その後に刷毛を使って

水でキットパスをのばしてマットな感じにていきました。

みんな自由に塗るといふ作業はとても楽しそうに迷いなく思いつきり塗っていました。

また、さらに水を使いながら色をのばしていくことも楽しそうで、なかなかやめない子もいるくらいでした。
少しの水でキットパスの色をのばすと水彩のようになることに驚きながら楽しんでいました。



K-ART <1月 午年ワーク> 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園



<探究活動を実践し、記録する>

1/14 (5歳児)

年長クラスの子たちは、意外と最初は慎重に塗りに始め、勢いがついてくると集中して色塗りをしていました。見本の背景を見て、何色が混ざっているところにある色を見出す子がいたり、好きな紫を思う存分塗り込んだり。そして最終的には水をつけて色をのばしながら、少し笑顔が出ていたり、ニヤツとした表情をしていたり、なんとなく絵の具とは違う感覚を楽しんでいる様子でした。

K-ART < 1月 午年ワーク > 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園



< 探究活動を実践し、記録する >
1/21 (4歳児)

キットパスで馬のパーツを塗り、鞍のパーツを塗り、最後に細かい毛並みをえんぴつで色を削ることで表現するところもがんばっていました。パウダーをして色止めをした後、パネルに貼ってしっかりと仕上げました。保護者の方がいる中で誇らしげに作品を見せる子たちがとてもかわいかったです。

K-ART <1月 午年ワーク> 実施報告 アンジェリカ亀戸保育園



<探究活動を実践し、記録する> 1/21 (5歳児)

この5～6歳クラスはどんどん進んでいったので、馬の飾り付けまでおこないました。馬の色や毛並みの表現、そして飾り付けを含めて、みんな年長さんらしいこだわりの作品が詰まりました。